

報道関係者各位

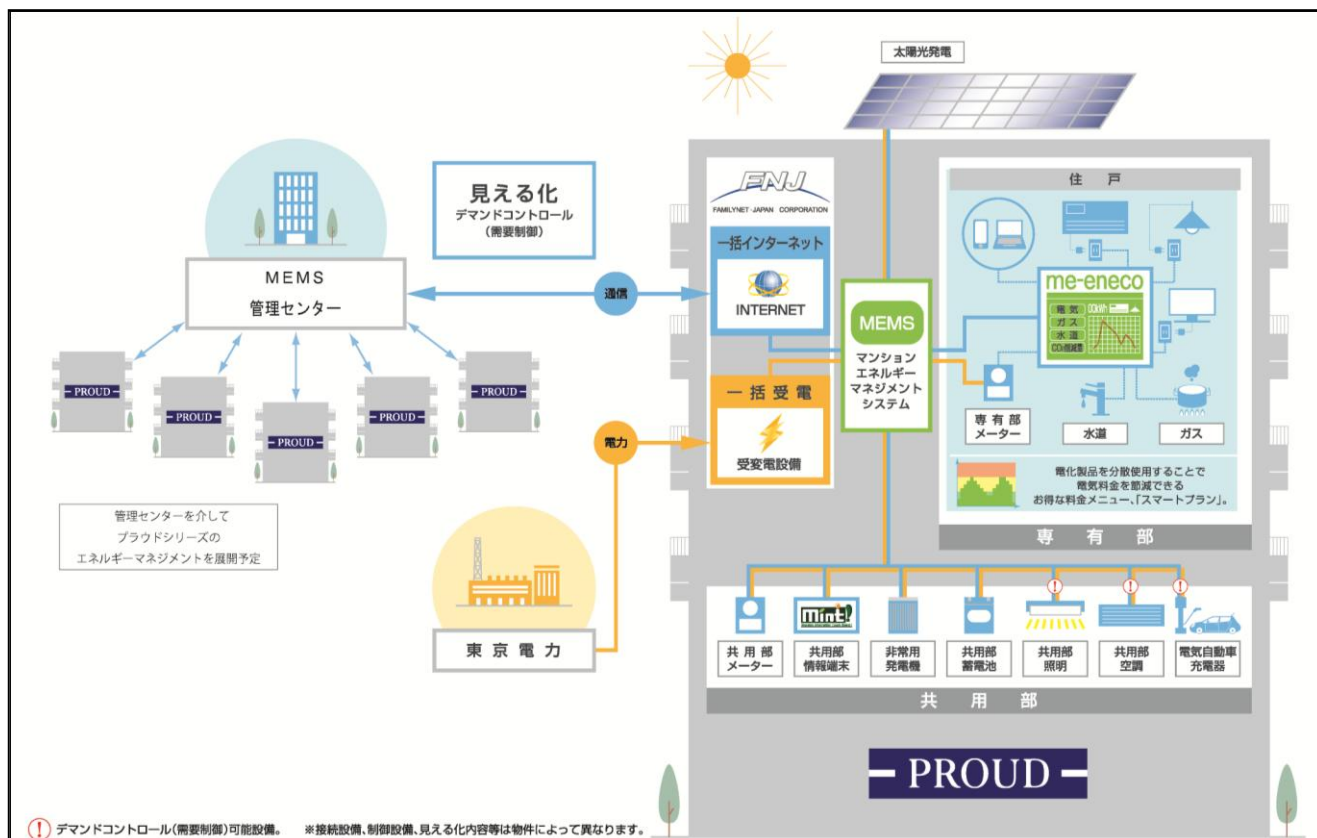
野村不動産とFNJ(ファミリーネット・ジャパン)の共同開発 次世代型スマートマンション・エネルギーサービス・システム『エネコック』を導入 ～電力とインターネットを融合し、電力消費のピーク抑制(シフト)を目指す～

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:鈴木 弘久)は、株式会社ファミリーネット・ジャパン(本社:東京都渋谷区、以下「FNJ」という)と共同で野村不動産が展開する「プラウドマンションシリーズ」に向けた次世代型マンション用のエネルギー管理システム「スマートマンション・エネルギーサービス・システム『エネコック(enecoQ)』」を開発したので、お知らせいたします。

震災等の教訓により電力には限りがあり、社会全体として電力消費のピークを抑えることの重要性が認知されました。そして、消費者サイドにも省エネ・節電に対する意識の高まりから、「電気をかきこく使う」という考えが広がりつつあります。

「エネコック」は、電力とインターネットを融合させ、電力消費のピーク抑制(シフト)を目指す新しいマンション・エネルギー・マネジメント・システム(MEMS)です。第1弾として「プラウドシティ元住吉(川崎市中原区、総戸数 296 戸、菱重エステート株式会社JV)」から導入を開始し、新船橋プロジェクト(船橋市、総戸数約 1500 戸、三菱商事株式会社JV)や東砂プロジェクト(東京都江東区、総戸数 169 戸)など今後の首都圏における一定規模(100 戸)以上のプラウドマンションシリーズに順次導入を検討してまいります。

◆「エネコック(enecoQ)」マンションエネルギー管理システムの(イメージ)概念図



PRESS RELEASE

◆「エネコック(enecoQ)」の特徴

①電力の高圧一括受電とインターネットを融合

- 電力の高圧一括受電とインターネットを融合させ、MEMS(マンション・エネルギー・マネジメント・システム※1)を介して、太陽光発電エネルギーや蓄電エネルギーなどと共にマンション全体の状況に応じたエネルギー消費の最適化を図る
- 各住戸内の電気・水道・ガスの消費量を30分ごとにホームページへ表示し、エネルギーの見える化を促進するHEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム※2)装置『me-eneco(ミエネコ)※3』を導入、入居者は自宅でエネルギーの利用状況だけでなく、過去の利用状況やマンション内の電力使用状況ランキングなどのサービスを受けることが可能
- 夏場の電力需要ピーク時には、需要逼迫予想情報を管理者側からインターネットを通じて、警報を発する機能も導入予定

【PC等でのエネルギーの見える化確認画面(参考)】

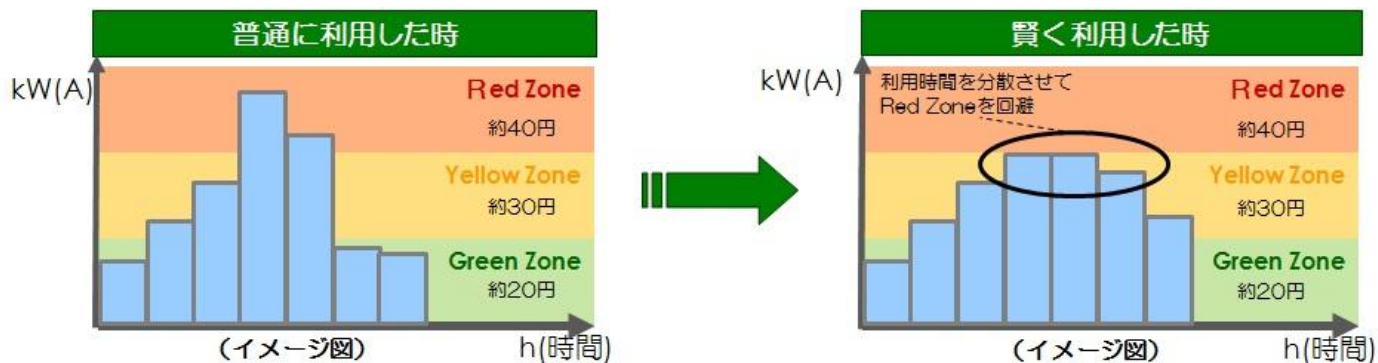


②独自のデマンドレスポンス型電気料金制度『スマートプラン』の導入

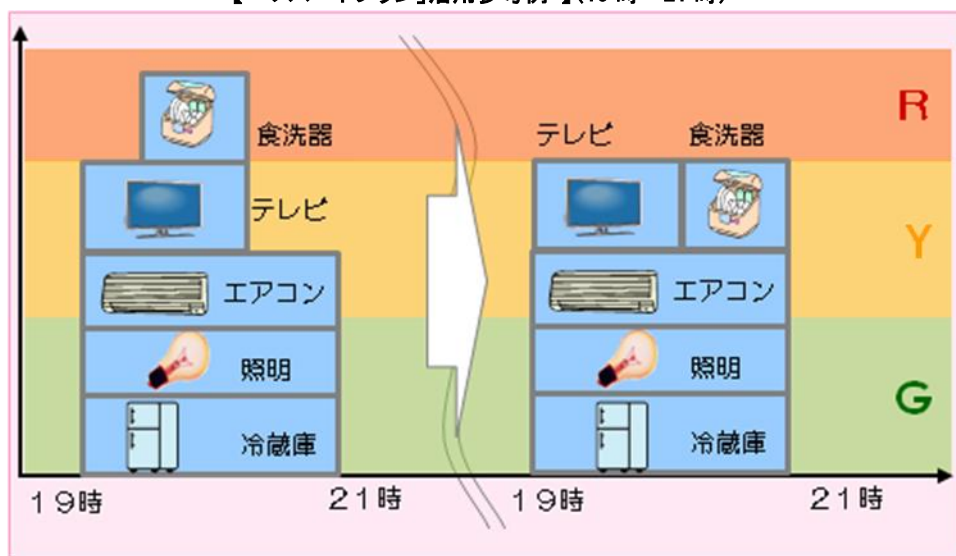
- 各住戸には、スマートメーター機能を有する計測装置を設置し、各住戸のエネルギー使用量を30分単位でリアルタイムに計測し、PCやスマートフォン等での見える化を図る
- 独自の電気料金制度『スマートプラン※4』の導入により、電力消費の多寡に応じて電気料金の単価を3段階に設定(約20円、約30円、約40円※5)。これにより同時使用量が一定ラインを超えてレッドゾーンになると単価が高くなり、一定レベルに抑えると単価は安くなることで、ピーク抑制(シフト)を目指す(下記イメージ図参照)
- 各住戸内には、現在の使用状況がリアルタイムに表示される装置を設置(予定)※6(各住戸は、電力の分散利用でのピーク抑制効果と電力一括受電効果により電気料金を下げることが可能)
- 電気代の基本料金の設定はありません。電気料金は使用分相当のみの支払いとなります。
- スマートメーター機能を有する計測装置を導入することより、将来の発展的なサービス提供が可能(将来対応)

PRESS RELEASE

【3段階の料金設定による電力消費のピーク抑制(シフト)例】



【「スマートプラン」活用参考例】(19時~21時)



※食洗機を他の家電と同時使用することで、電気代が「Red Zone」の料金帯になるところを、使用時間を工夫することで「Yellow Zone」の料金帯となる

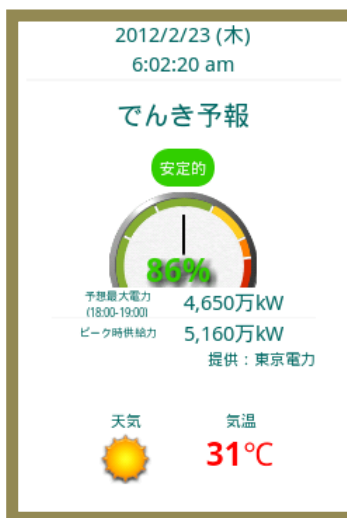
【「現在の電気の使用状況」や「でんき予報」を表示する装置(イメージ画面)】※新船橋プロジェクトに導入予定



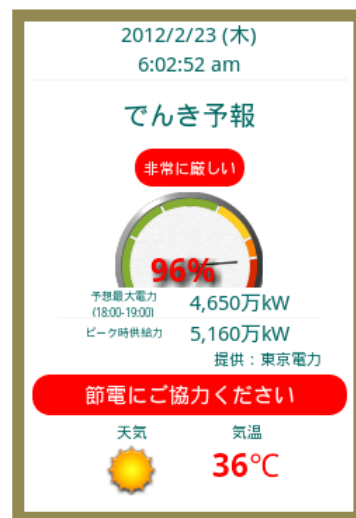
<電気使用状況(リアルタイム)>



<CO2排出量>



<でんき予報(平常時)>



<でんき予報(逼迫時)>

PRESS RELEASE

③共用部等への遠隔操作を行うことができる独自の『MEMS 管理センター』の設置

- マンションの専用部及び共用部のエネルギー使用状況等を管理する『MEMS 管理センター』をマンションとは独立した場所に設置し、各住戸への省エネルギー提案や天気予報などの情報から電力需要を予測し、電力需要逼迫時には共用部の照明や空調の一部の電力を能動的に制御するシステムを導入
- 災害等の停電時には、太陽光発電のエネルギーを自立運転に切り替え、共用部の照明や携帯等の充電に必要な非常用コンセント、無線LANへ優先的に電力供給を行うことで、ネット接続による『MEMS 管理センター』からの災害情報等の収集が可能となり、入居者の安全をサポート
- 太陽光発電で発生した電力は、マンション内にて発電量、CO₂削減量の情報の見える化を実施

◆「enecoQ」(エネコック)のロゴ



「enecoQ」(エネコック)とは、エネルギー<energy>、エコロジー<ecology>とクオリティ<quality>という言葉をもとにネーミング。さらに、エネルギーという素材を上手に活かす調理人(コック)という意味を込めています。

- ※1: MEMS(Mansion Energy Management System: マンション・エネルギー管理システム)とは、ITの技術を活用し、マンション全体のエネルギー管理を行うシステム
- ※2: HMES(Home Energy management System: ホーム・エネルギー管理システム)とは、ITの技術を活用し、住宅のエネルギー管理を行うシステム
- ※3: me-eneco(ミエネコ)とは、当システムで導入するHEMS 機器の名称
- ※4: FNJによる特許出願(2011-195417)および商標登録出願(商願 2012-3863)
- ※5: 設定料金に関しては、今後変更する可能性があります
- ※6: 新船橋プロジェクトに導入予定
- ※本システムは、物件により導入設備が多少異なります

以上

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社 広報部(柿原・北井)

TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445